

中国が協力するウクライナのアントノフ 77 型輸送機

漢和防務評論 20180306(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

中国は、新型 Y-20 輸送機開発でウクライナの支援を受けました。またウクライナは、ソ連、ロシアと友好関係にあった時代に開発された AN(アントノフ)70 型輸送機を、AN-77 型大型軍用輸送機として中国向けに改良しようとしているようです。AN-77 は、中国製部品が使われる予定で、重慶にアントノフ社の工場ができるようです。ロシアの反応は、中国製部品の品質に疑問がある、と冷ややかに見えています。

KDR パリ平可夫特電：

ウクライナのアントノフ航空機会社は、パリ航空ショー（2017年6月）で、最新型 AN-77 輸送機の技術データを展示した。AN-77 は、ソ連時代に設計された AN-70 と同じ機体であり、中国は今世紀はじめ、この種の大型輸送機に興味を示していた。アントノフ航空機会社の消息筋は、**KDR** に対し次のように述べた：AN-77 と AN-70 の最大の相違点は、前者がロシア製部品を全く使用していない点である。同機は、出来るだけウクライナ製部品を使用するとともに、外国の協力も得ている、と。

KDR は、AN-77 は、計画的に中国製部品を使用している、と見ている。現在双方は協議中であり、AN-77 は未だ大量生産には入っていない。まず最初に、中国向けに改良する上で概念を決定することが必要である。中国の Y-20 は、外形設計、理念で AN-70 を大いに参考にした。なぜならアントノフ社は、Y-20 の設計段階から情報収集活動に介入していたからである。

ウクライナの軍事工業界は、中国との軍事協力については硬く口を閉ざしていたが、確かにウクライナは、若干の部品生産で中国に技術移転した。そして重慶に工場を建設した。ウクライナは今後輸送機の部品生産の一部を中国で行いたいと考えている。消息筋は”ウクライナは、これらの部品を自国で生産できるが、新たに工場を建設するならば、自己資金が必要になる”と述べた。AN-77 の出現に対して、**KDR** がロシアの専門家に聞いたところ、専門家は：たとえ中国がウクライナのために一部の部品を提供するとしても、ロシア製部品と同レベルのものは提供できないだろう、と述べた。

以上